

# 野村復興ハーブティーの開発

Nomura Revival Herb Tea

江夏菜々穂 菊本愛里 森山真菜 山田美穂

# 野村町について



平成30年(2018年)7月7 西日本豪雨による被害

台風7号と梅雨前線の影響

町内を流れる肱川（ひじかわ）流域の野村ダム  
貯水量が急増



「緊急放流」

野村町もこれまでにない雨の量と野村ダムの放流

肱川が氾濫



多くの建物が浸水



乙亥会館

# 活動報告（現地調査）

- 乙亥大相撲  
野村高校の出店のお手伝い、まち歩き
- 野村町の人との交流  
会話をすることで人の温かさを感じた
- 統計調査、情報収集



# 野村でやってみたいこと

## 災害

- ・ 自転車で発電
- ・ 災害時に役立つ何かを作る

## 施設

### 自然体験施設

- ・ グランピング
- ・ パーベキュー施設
- ・ トレーラーハウス
- ・ キャンプファイヤー
- ・ キッチンカー

### 商売

- ・ 道の駅的な施設
- ・ ショッピングモール
- ・ プール、スケート施設

## メディア制作、披露

- ・ 音楽制作
- ・ 映画鑑賞
- ・ 動画作成(YouTube)
- ・ はなおてんがん有効活用計画

## 開放空間

- ・ 遊具のある公園
- ・ 「みんなのひろば」(銀天街)のような空間

## 花

- ・ 春夏秋冬花がある空間作り
- ・ フラワーパーク  
(季節ごとに花が変わる)

## 自然・風景

- ・ 自然を楽しめるオープンカフェ
- ・ 風景インスタ映え
- ・ 噴水を作る

## 〇〇作り

- ・ 香りづくり(野村イメージ)
- ・ ゆるキャラ作り
- ・ シンボル作り
- ・ アート作り(開放的な空間)

# なぜハーブティーの開発にしたのか？

## ① お酒以外の物産

対象：お酒を飲めない人（子どもやお酒に弱い人）も含めた人々

## ② 野村の新価値

・ 野村のお茶（自家製のお茶文化）とブレンド

## ③ 花言葉×復興

- ・ 復興の目指すものとハーブの花言葉の一致
- ・ 物語をハーブに託す

〈コンセプト〉

野村での暮らしを彩るハーブティーづくり

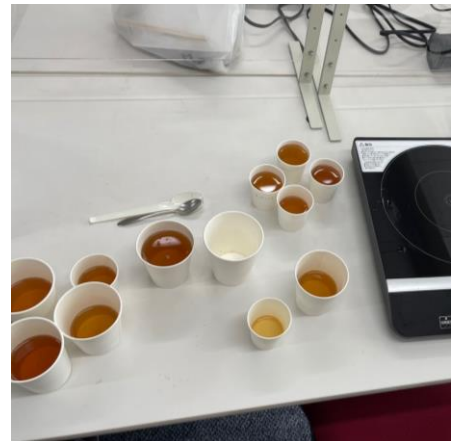
# 活動報告(スケジュール)

4月27日 お茶摘み、茶葉づくり

6月22日 ハーブ植え、地域住民へのヒアリング

10月26日～ ハーブティー試作

12月21日～ パッケージ等考案



# 01

## あま〜いかモミール

カモミール  
ほうじ茶

花言葉：「逆境に耐える」「親友」

効能：心身のリラックス、頭痛や神経痛を和らげる

## 花言葉×野村 1つの物語

カモミールの花言葉は“逆境に耐える”“親友”である。平成30年7月西日本豪雨災害によって野村町は甚大な被害を受けた。そこからの復興活動は、並大抵なものではなく、地域住民、他の地域からのボランティアの方々と力を合わせて前に進む姿は、まさに“逆境に耐える”そのものであった。どんな逆境に立たされても、野村町には耐える力がある。どんな時でもお互いに支え合う地域住民という“親友”ともいえる存在があれば、これからの野村町も前に進むことができる。野村町の輝く未来を願って作られたハーブティー。



# 02

## さわやかラベンダー

ラベンダー

レモンバーム

ローズマリー

ほうじ茶

花言葉：「あなたを待っています」「思い出」「思いやり」

効能：抗うつ作用、抗菌・抗ウイルス作用、  
消化不良のやわらぎ作用、心身リラックス

## 花言葉×野村 1つの物語

ラベンダーには“あなたを待っています”、ローズマリーには“思い出”、レモンバームには“思いやり”の花言葉がある。現在、野村町ではのむら復興まちづくりワークショップを行い、肱川周辺の復興に向けて多くの地元住民が関わっている。そこでは、これまでの“思い出”と共にこれからの“思い出”の場所となるように創り上げている最中だ。街を“思いやる”人たちがこの地域には集まっている。そして野村町はいつだって“あなたを待っている”。そんな野村町の温かさと肱川の爽やかさをイメージしてブレンドしたハーブティー。

# 03

## すっきりレモン

レモンバーム

レモングラス

ペパーミント

ほうじ茶

花言葉：「爽快」「凛々しさ」「思いやり」「共感」

効能：気持ちを落ち着かせる、血行促進・貧血予防

## 花言葉×野村 1つの物語

レモングラスには“爽快”“凛々しさ”、レモンバームには“思いやり”“共感”、ペパーミントには“心の温かさ”の花言葉がある。私たちがこのプロジェクトをするにあたって、初めて野村町に訪れたときの感想は、4人一致して「野村の人々は“温かい”」だった。そんな野村町を襲った豪雨災害を私たちは実際にこの目で見たわけではないが、被害の甚大さと、住民同士の“思いやり”でここまで支え合ってきたことを私たちは知っている。野村の復興に対する思いも、野村の人々と“同じ”だ。レモンとミントの風味から、野村を囲む“凛々しく”“爽快な”自然が思い浮かぶハーブティー。

# 04

## げんきがでるマリー

ローズマリー  
レモングラス  
ペパーミント  
ほうじ茶

花言葉：「思い出」「記憶」

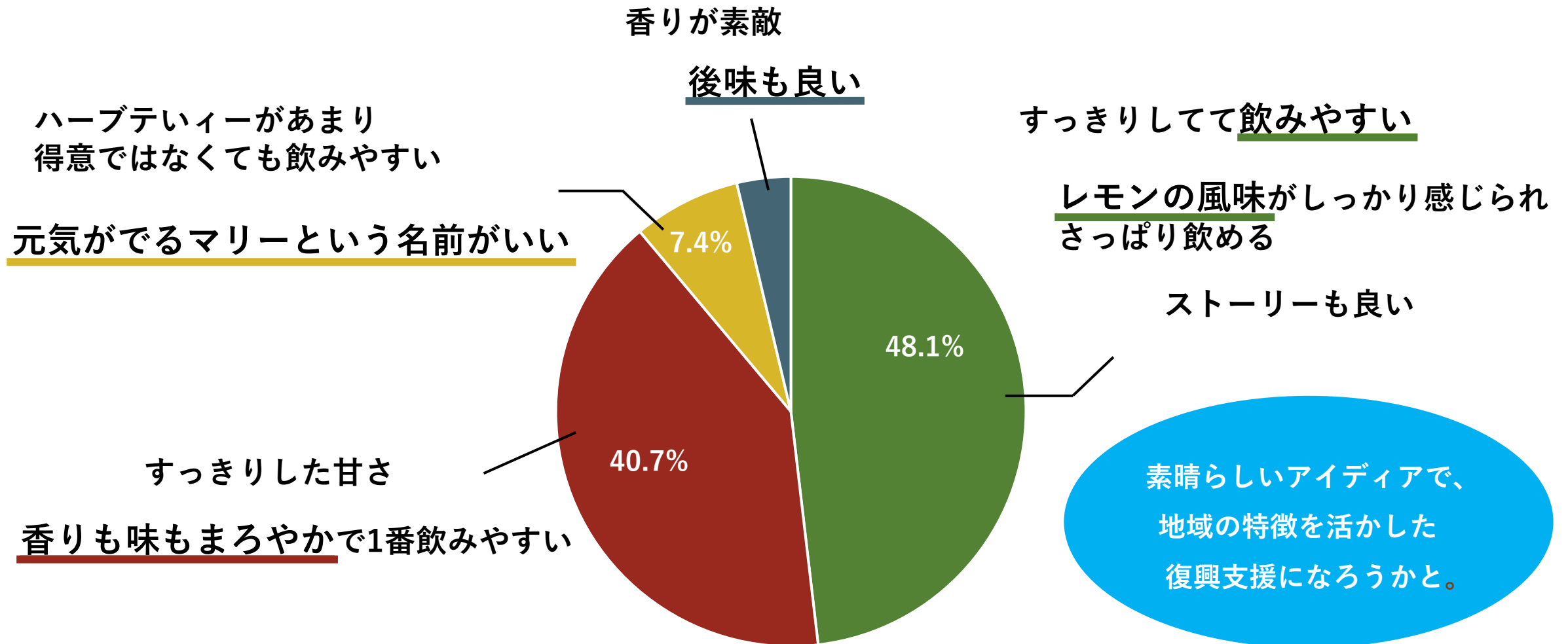
効能：記憶力や集中力を高める、心身のリラックス

## 花言葉×野村 1つの物語

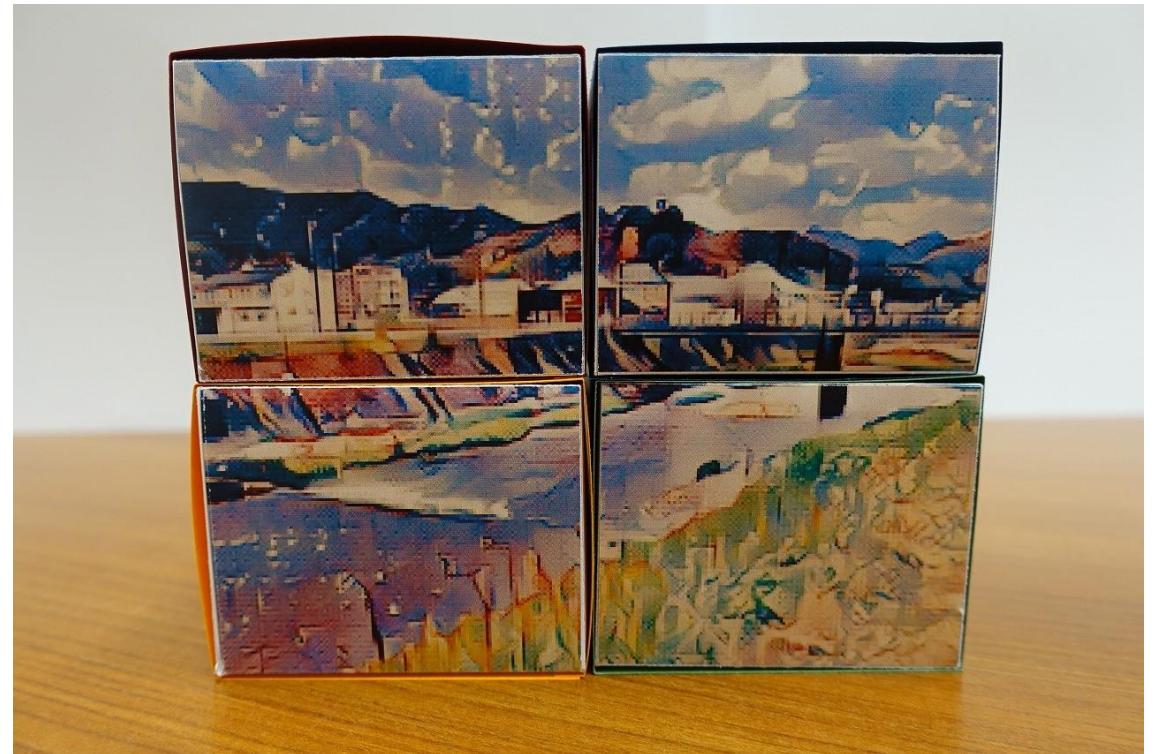
ローズマリーの花言葉は、“思い出”“記憶”である。野村住民の方々は皆元気である。老若男女問わずエネルギーで、とても明るい。特に、野村高校の生徒たちも明るく積極的で、野村復興まちづくりワークショップでは大人顔負けの立ち振る舞いだった。平成30年に西日本豪雨災害で野村町は襲われたが、地域全体で力を合わせて明るい未来を創造している。そんな様子は、野村住民の元気さをふつふつと感ずることができる。野村はそんな力が集結している町である。野村のような「げんき」をもらえるハーブティー。げんきのでるマリーを飲んで、また明日も頑張ろう。

# アンケート結果

- ：すっきりレモン
- ：あま〜いカモミール
- ：げんきがでるマリー
- ：さわやかラベンダー



# パッケージイメージ



前と後ろどちらから見ても目を引くデザイン  
4つ揃って一つの絵が完成





01. あま〜いカモミール

カモミールの花言葉は“逆境に耐える”“親友”である。平成30年7月西日本豪雨災害によって野村町は甚大な被害を受けた。そこからの復興活動は、並大抵なものではなく、地域住民、他の地域からのボランティアの方々と力を合わせて前に進む姿は、まさに“逆境に耐える”そのものであった。どんな逆境に立たされても、野村町には耐える力がある。どんな時でもお互いに支え合う地域住民という“親友”ともいえる存在があれば、これからの野村町も前に進むことができる。野村町の輝く未来を願って作られたハーブティー

# 今後の課題・展望

- 材料の仕入れ

野村町でのハーブの栽培

→緒方蔵の下（右写真）



- 販売方法

①管理者・責任者をどうするのか考える必要アリ

→候補：NEOのむら

②販売場所について

→候補：NEOのむらインターネット販売

野村町内の店舗（ゆるり庵）



ご清聴ありがとうございました。

